

第2回地球温暖化対策研究推進委員会（結果概要）

1 日 時：平成20年2月25日（月）13時30分～15時30分

2 場 所：農林水産技術会議委員室

3 出席者：別紙のとおり

4 概 要：

（1）佐藤委員から資料1について、飯山委員から資料2について、事務局から資料3について説明があった。

（2）出席者からの主な発言は以下のとおり。

- ・地球温暖化による森林・農地・漁場を含めた海洋・陸域における生態系の変動が農林水産業に影響を及ぼすことを認識して、農林水産業の相互性やLCA（ライフサイクルアセスメント）を考慮した総合的な温暖化研究の取り組みが必要。
- ・これまでの温暖化影響予測研究は時間軸がバラバラであり、研究成果を発信していく際に時間軸を合わせる必要がある。
- ・多くの地球温暖化対策の要素研究の成果を体系的に取りまとめ、地球温暖化研究の全体像を判りやすく社会に示していくことが重要。
- ・国際機関と連携した温暖化研究の推進が必要であり、このためには資金的支援のみならず人的貢献を検討していくことが重要。
- ・開発途上国と国際共同研究を推進する上で、開発途上国側の研究者を育成するなど組織や人材の能力開発が重要。
- ・IPCC等の国際的な議論において日本の研究者がどの様に貢献しているかについて、研究成果の海外への発信のあり方も含め、戦略的な検討が必要。
- ・本委員会での検討内容を総合科学技術会議に情報提供し、関係省が連携した研究計画を作成するなど、農林水産省がこの分野の研究を率先して進めていくことが重要。

(別紙)

第2回 地球温暖化対策研究推進委員会 出席者リスト

(委員)

学校法人北里学園北里大学副学長教授	陽 捷行
国立大学法人茨城大学	
地球変動適応科学研究機関長教授	三村信男
農林水産政策研究所次長	渡部靖夫
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構理事長	堀江 武
独立行政法人農業環境技術研究所理事長	佐藤洋平
独立行政法人国際農林水産業研究センター理事長	飯山賢治
独立行政法人森林総合研究所理事長	鈴木和夫
独立行政法人水産総合研究センター理事長	川口恭一

(行政部局)

農林水産技術会議事務局長	竹谷廣之
総合食料局次長	平尾豊徳
農村振興局企画部長	斉藤晴美
林野庁森林整備部長	針原寿朗
水産庁増殖推進部長	重 義行
大臣官房企画評価課技術調整室長	榎 浩行